

大阪府消費者フェア 2020 開催報告

来場者 1,942 人！ (web 配信含む)

大阪府消費生活センターでは、平成 3 年度から毎年、多くの府民の方々に消費者問題についての理解を深めていただくため、消費者団体、事業者団体、行政等、多様な主体が連携し、消費生活に関するさまざまな情報をわかりやすく提供する、府民参加型イベント「大阪府消費者フェア」を開催しています。

令和 2 年度は会場と web 配信の両方で開催

今年度当初に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、「改正新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づく「緊急事態宣言」が発令されたこともあり、イベントの開催決定が大幅に遅くれ、実行委員会も 8 月に書面開催となりました。

このような状況の中、「大阪府消費者フェア 2020」は、実行委員会の承認を得て初の試みとして会場と web 配信の両方で実施しました。また、今年度のテーマは「楽しく学ぼう！大阪府消費者フェア 2020～新しい生活様式とエシカル消費～」でした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための「新しい生活様式」と、昨年に引き続き SDGs の達成手段のひとつである「エシカル（倫理的）消費」に重点を置き、府民への意識付けや消費行動につながるようなテーマを設定することができました。

会場の来場者は 971 名、web 配信閲覧者 971 名を合わせて 1,942 名の方に楽しく学んでいただきました。

会場開催では 30 団体が出展

会場開催は、令和 2 (2020) 年 11 月 7 日 (土) に大阪府咲洲庁舎 1 階フェスパで、「咲州子ども EXPO 2020」に準じて入場可能な人数を設定して実施し、web では 11 月 7 日 (土) から 11 月 30 日 (月) までプログラムを配信しました。



会場では、三密にならないようステージプログラムは行わず、スライドショーコーナー、パネルコーナー、情報コーナーを展開し、30 団体が出展しました。

スライドショーコーナーでは、参加団体の動画等による活動紹介、動画「SDGs カルタで遊ぼう！」、若者向け啓発として収録した動画「笑い DE 学ぶ消費者トラブル 2020」を終始、スクリーンに映し出しました。



パネルコーナーでは、消費者団体が新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた買物エチケットや地産地消の推進、家庭のプラスチックごみ・食品ロス削減など、これまでに培ってきた暮らしの知恵や、日ごろから調査・研究のまとめをパネル展示しました。



情報コーナーでは行政、関係機関が製品安全、安全に関するマーク、製品事故など消費生活に関する様々な情報を提供しました。



また、「消費者教育推進大使もずやん」が会場に出場し、来場した子どもたちの人気を集めていました。



web では限定情報も配信

Web 配信では、開催会場内で映したスライド

ショーを「パフォーマンス」、パネルコーナー及び情報コーナーを「知っとこ情報」と称しプログラムを配信しました。「知っとこ情報」の中には、大阪府が若年者への消費者教育の担い手として育成している「大阪府消費者教育学生リーダー会」からの情報提供など web 配信限定の情報も加えて提供しました。

その他、リサイクル品を活用したエコ手芸や料理レシピなどの「ハンドメイド」情報や、小学校5・6年生向け診断ツール「消費生活名人になれるかな？」及び「もずやんを探せ！」クイズをweb上に仕掛け、子どもにも楽しく学べるように工夫しました。



(web 配信トップページ)

38 団体が消費者フェア 2020 に出展

毎年度盛り上がる「お楽しみ抽選会」は中止しました。代わりに会場と web 配信でアンケートに回答いただいた方の中から抽選で 10 名に、大阪産（おおさかもん）の加工品や生活用品が詰まった記念品を贈りました。

「大阪府消費者フェア 2020」は、コロナ禍において対面での団体活動が制限される中、38 団体に出演いただきました。これからも互いに協力し合って消費者に適切な情報を発信する場となるように努めていきます。

最後に、フェアの開催に当たりご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

(大阪府消費生活センター)